

精神科（稲沢厚生病院・北津島病院）

【一般目標（GIO）】

心理社会的・精神医学的問題を持つ患者に対し、精神医学的なアプローチや対処ができる技術を習得し、主要な精神疾患の概略を理解し、基本的な知識を身につける

【行動目標（SBO s）】

- ① 患者との対話で、自然な会話の中で患者から情報を得ることができる
- ② 患者の外見、年齢によらず、一定の礼儀正しい共感的な態度を保つことができる
- ③ 患者や家族の不安を軽減しつつ、受診理由、既往・家族歴、生活史、性格および現病歴などをとることができる
- ④ 患者の表情、態度、行動、言語表出などを観察して記載できる
- ⑤ 要素的精神機能の障害（意識障害・見当識障害・知能障害など）を把握できる
- ⑥ 病識、病感の有無を判断できる
- ⑦ 一般的身体所見および神経学的所見をとることができる
- ⑧ 頭部 CT・MRI などの適応を理解し、検査所見を記載できる
- ⑨ 脳波検査の適応を理解し、検査所見を記載できる
- ⑩ 心理検査について一応の理解を持ち、その効用と限界を理解できる
- ⑪ 予診、診察、各種検査結果に基づき精神医学的診断をくだすことができる
- ⑫ 主な向精神薬の適応、禁忌、使用量、副作用などを理解する
- ⑬ 診断に必要な情報が不足していても、現在症だけで診断し、治療計画を立案する
- ⑭ 他診療科から紹介される患者の精神状態について診断し、適切に対応することができる

【研修方略（LS）】

- ① 病棟、救急外来での実務研修（On-the-Job Training : OJT）を行なう
- ② 指導医・主治医の指導の下、患者の診察や治療計画に参加する
- ③ 各種検査や手術の見学・介助を行ない、手技の理解や結果の解釈を行なう
- ④ 各種のカンファレンスに参加する

【研修評価（Ev）】

- ① 自己評価：精神科研修修了時に評価表による評価
- ② 指導医による評価：各科研修修了時に評価表による評価

【代表的経験疾患】

症状精神病・認知症・アルコール依存症・気分障害（うつ病、躁うつ病を含む）

統合失調症・不安障害（例えばパニック障害）・身体表現性障害、ストレス関連障害